

# TOTO

## 施工説明書

# ハイドロセラ・トイレフロアJ

品番：AGF800、AGF801、AGF802、AGF803、AGF804、AGF805、AGF806、AGF807、AGF808、AGF809、AGF810、AGF811、AGF840、AGF841、AGF850、AGF851、AGF852

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って、正しく取り付けてください。  
本説明書には、セラミックパネル、フローリング取り付け要領を掲載しています。


- 本商品の施工の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 貼り付け順番に関するご注意・・・・・・・・・・・・ 2
- 施工前の確認事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 部材の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 必要な道具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 施工の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

## 安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)



施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。  
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。  
その表示と意味は次のようになっています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	<p>⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。</p>		<p>⚠ は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。</p>
--	--	---	---

表示	意味
	<p>⚠ <b>注意</b> この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

⚠ 注意	
 禁止	<p>セラミックパネルに衝撃を与えない 破損してけがをするおそれがあります。</p>
	<p>セラミックパネルにワックスをかけない 滑りやすく危険です。</p>
	<p>セラミック部に穴開け・切断加工しない 破損してけがをするおそれがあります。</p>
 必ず実行	<p>セラミックパネル取り扱い時は必ず手袋を着用する けがをするおそれがあります。</p>
	<p>セラミックパネルは焼き物のため、運搬など施工中の取り扱いに注意する 破損してけがをするおそれがあります。</p> <p>工具使用の際は、必要に応じて保護具(保護メガネ、手袋など)を正しく着用する 保護具を正しく着用しないと思わぬ事故やけがをするおそれがあります。</p>

## 動画を見る 施工方法

[https://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/move/haidoroseratoire\\_j1.htm](https://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/move/haidoroseratoire_j1.htm)

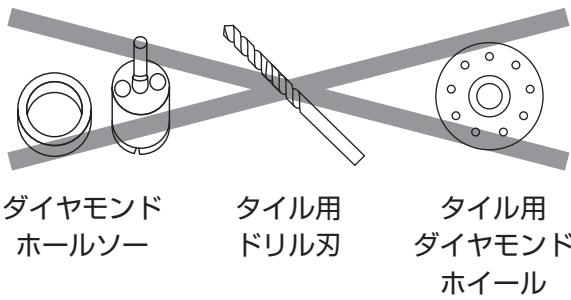
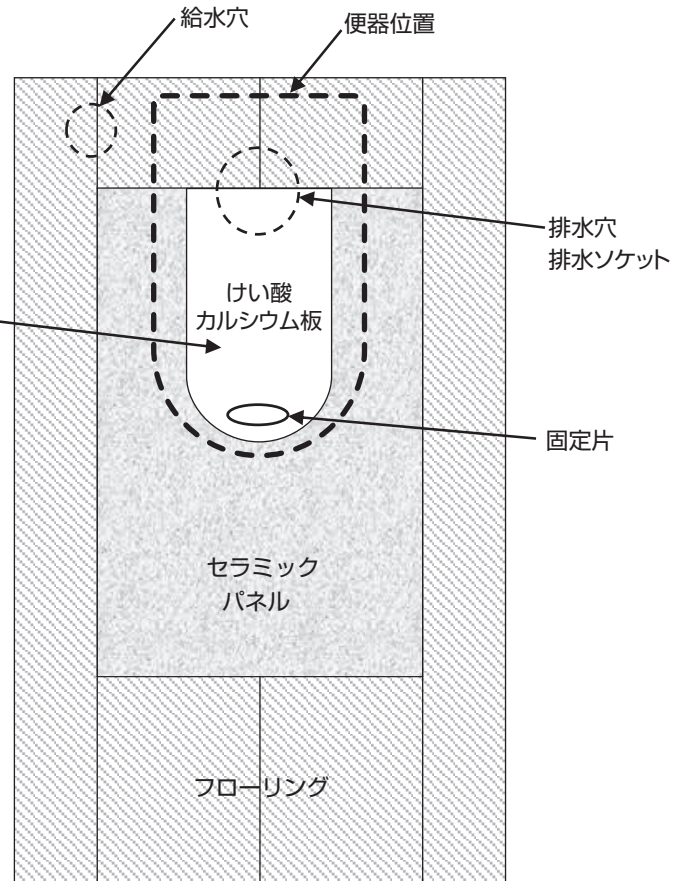
※通信料がかかります。  
※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。



# 本商品の施工の特徴

**本商品は、  
セラミック加工 (カット・穴開け)  
は不要です。**

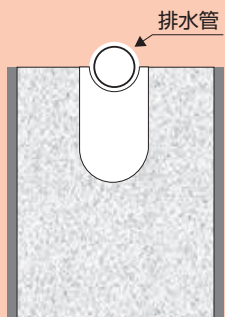
右図のけい酸カルシウム板は、  
便器で隠ぺいできる仕様です。



## 貼り付け順番を必ず守ってください (誤ると、すき間ができ床貼り直しになります)

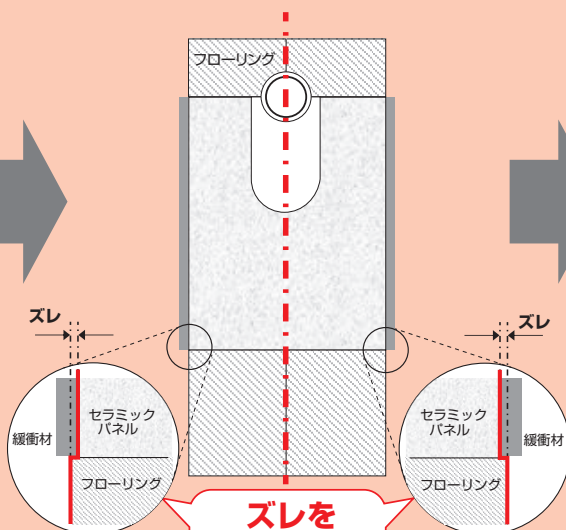
### ステップ1

セラミックパネルを  
**最初に**貼り付け



### ステップ2

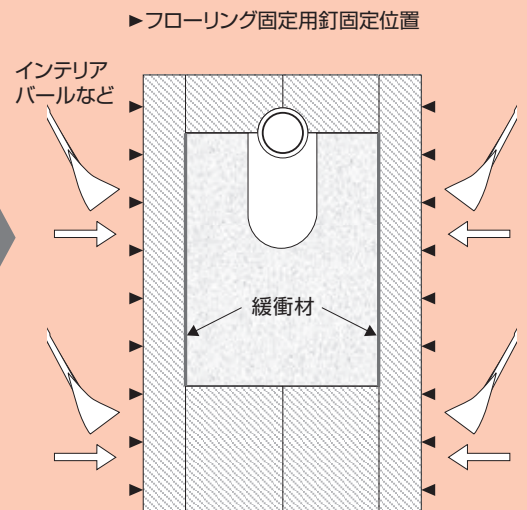
セラミックパネル前後の  
フローリングを  
**中央揃え**で貼り付け



**ズレを  
左右均等に**

### ステップ3

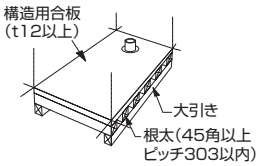
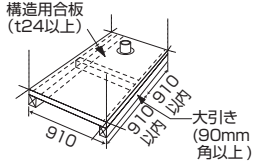
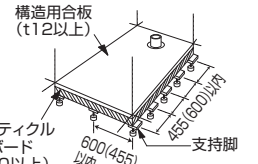
左右のフローリングを引き寄せ、  
**緩衝材**を潰して貼り付け



※ズレ……セラミックパネルとフローリングの幅寸法が異なるためズレが発生します。  
※ドア枠など納まりの関係上、セラミックパネルから貼れない場合は、P12「その他」へ

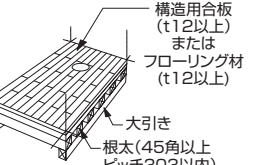
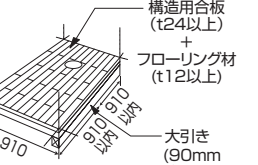
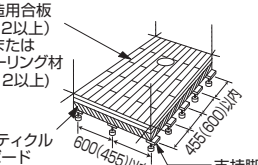
# 施工前の確認事項 下地について

**新規下地の場合** 下表の内容をご確認ください。

下地構造 (単位 :mm)		確認事項
施工 できる 下地 条件	木質根太下地 	<input type="checkbox"/> 45mm角以上の根太を使用している。
		<input type="checkbox"/> 根太のピッチは303mm以内である。
		<input type="checkbox"/> 12mm厚以上の構造用合板を使用している。
	剛床下地(根太レス) 	<input type="checkbox"/> 90mm角以上の大引きを使用している。
		<input type="checkbox"/> 大引きのピッチは910mm以内である。
		<input type="checkbox"/> 24mm厚以上の構造用合板を使用している。
	乾式二重床下地 	<input type="checkbox"/> 支持脚は長手455(600)mm以内、短手600(455)mm以内のピッチである。
		<input type="checkbox"/> 支持脚上部に20mm厚以上のパーティクルボードを使用している。
		<input type="checkbox"/> 12mm厚以上の構造用合板を使用している。
	共通	<input type="checkbox"/> 構造用合板は1枚ものである。
<input type="checkbox"/> 不陸は5mm以内、段差は1mm以内である。		
<input type="checkbox"/> 下地の腐食、腐朽、われ、亀裂、陥没などの異常がない。		
<input type="checkbox"/> 下地面のゴミ、ほこりなどをきれいに取り除いている。		
<input type="checkbox"/> 下地は床仕上げ面から12mm以上下がっている。		

施工 できない 下地 条件	コンクリート下地	裏面に結露が発生し、それにより下地が腐食、変形して製品が破損するおそれがあります。
	床暖房の床	仕様によって設置できない場合があります。事前に当社各支社・営業センターにご相談ください。

**既存床流用の場合** 下表の内容をご確認ください。

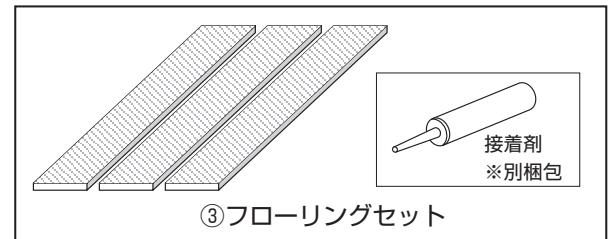
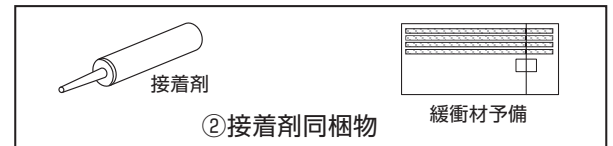
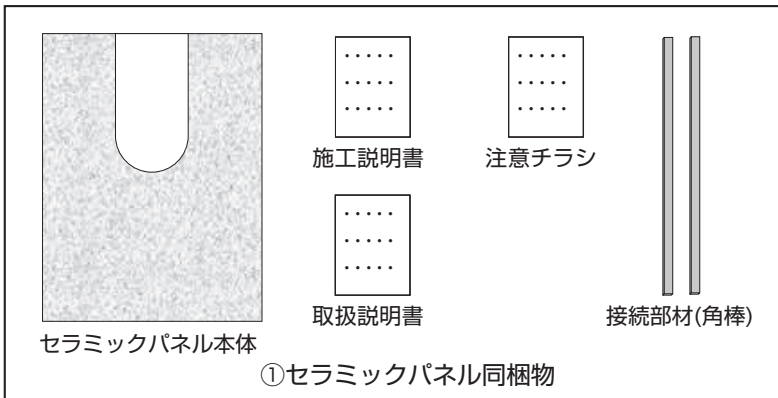
下地構造 (単位 :mm)		確認事項
施工 できる 下地 条件	木質根太下地 	<input type="checkbox"/> 45mm角以上の根太を使用している。
		<input type="checkbox"/> 根太のピッチは303mm以内である。
		<input type="checkbox"/> 構造用合板またはフローリング、または総厚みが12mm以上である。
	剛床下地(根太レス) 	<input type="checkbox"/> 90mm角以上の大引きを使用している。
		<input type="checkbox"/> 大引きのピッチは910mm以内である。
		<input type="checkbox"/> 24mm厚以上の構造用合板を使用している。
	乾式二重床下地 	<input type="checkbox"/> 支持脚は長手455(600)mm以内、短手600(455)mm以内のピッチである。
		<input type="checkbox"/> 支持脚上部に20mm厚以上のパーティクルボードを使用している。
		<input type="checkbox"/> 構造用合板またはフローリング、または総厚みが12mm以上である。
	共通	<input type="checkbox"/> 既存床フランジは撤去済みである。
<input type="checkbox"/> 不陸は5mm以内、段差は1mm以内である。		
<input type="checkbox"/> 下地の腐食、腐朽、われ、亀裂、陥没などの異常がない。		
<input type="checkbox"/> 下地面のゴミ、ほこりなどをきれいに取り除いている。		
<input type="checkbox"/> 接着剤などはがし残しがない。		
<input type="checkbox"/> 下地は床仕上げ面から12mm以上下がっている。		

施工 できない 下地 条件	クッションフロア	そのままでは施工できません。必ずはがしてから施工してください。(下地の損傷が激しい場合は、下地を作製し直してください)
	タイル	不陸が大きく、水平が確保できません。(施工可能な下地を作製してください)
	コンクリート下地	裏面に結露が発生し、それにより下地が腐食、変形して製品が破損するおそれがあります。(施工可能な下地を作製してください)
	床暖房の床	仕様によって施工できない場合があります。事前に当社各支社・営業センターにご相談ください。

# 部材の確認

## 部材一覧

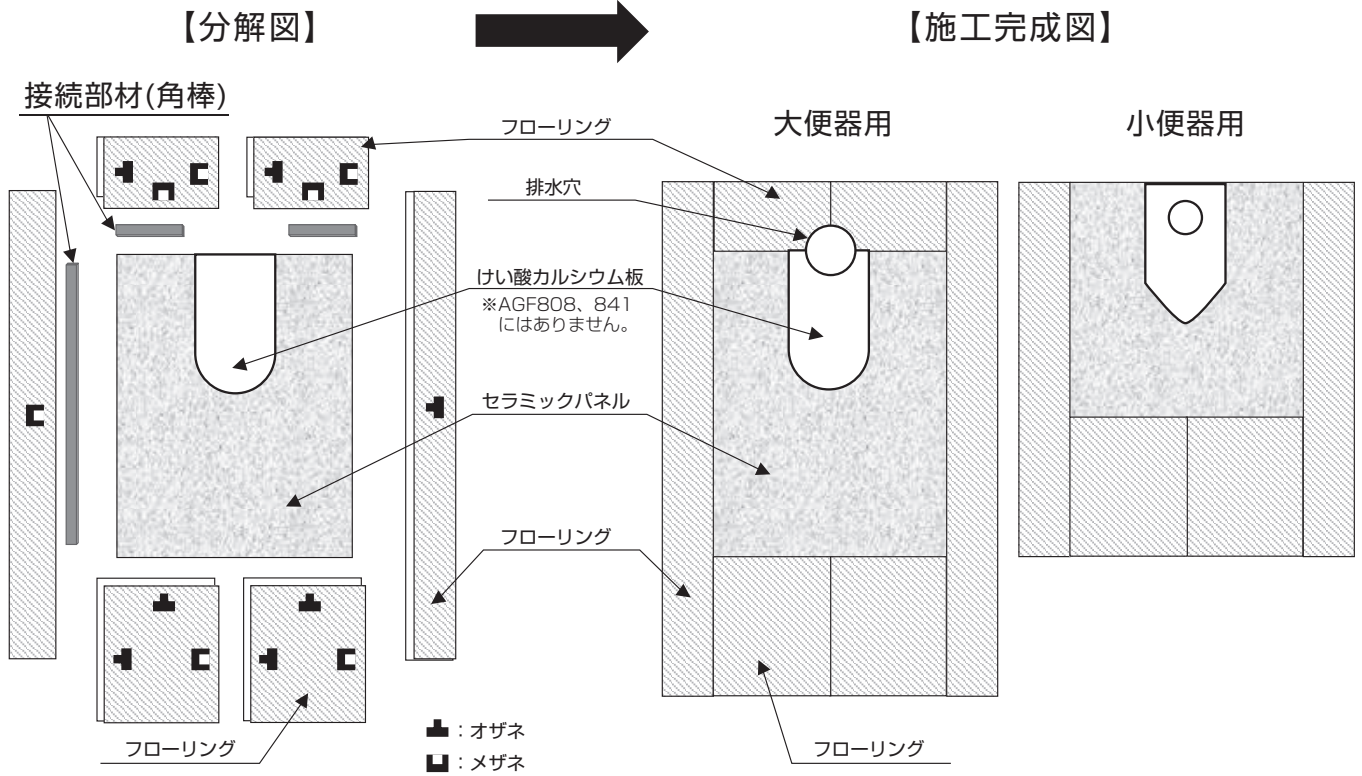
	品名	寸法	入数	材質・用途
①	セラミックパネル本体	600×900(845、600)mm	1枚	表面：セラミック 裏面：けい酸カルシウム板
	施工説明書	A4冊子	1枚	本書
	取扱説明書	A4	1枚	お施主様に渡してください
	注意チラシ	A3	1枚	—
	接続部材(角棒)	3.6×10×870(815、570)mm×2本	2本	やといザネ用
②	接着剤	333ml	1本	1液ウレタン樹脂系
	緩衝材予備	200mm×5本	1本	セラミックパネルに貼り付けた緩衝材の補修用
③	フローリングセット	300×1818mm	3枚	
	追加フローリング	300×1818mm	1枚	間口905mm以上の場合必要 ※別売品
	接着剤	333ml	1本	1液ウレタン樹脂系 ※別梱包



## 必要な道具 下表を参照してご確認ください

割り付け	<td> </td>			
	コンベックス	曲尺	墨つぼ	水準器
加工	<td> </td>			
	作業台	丸のこ	クランプ	定規
貼り付け	<td> </td>			
	コーキングガン	吸盤	インテリアパール	スペーサー
養生	<td> <p>■フローリング固定用釘    スクリューネイル38mm    フロアステーブル38mm (肩幅4mm以上)</p> </td>	<p>■フローリング固定用釘    スクリューネイル38mm    フロアステーブル38mm (肩幅4mm以上)</p>		

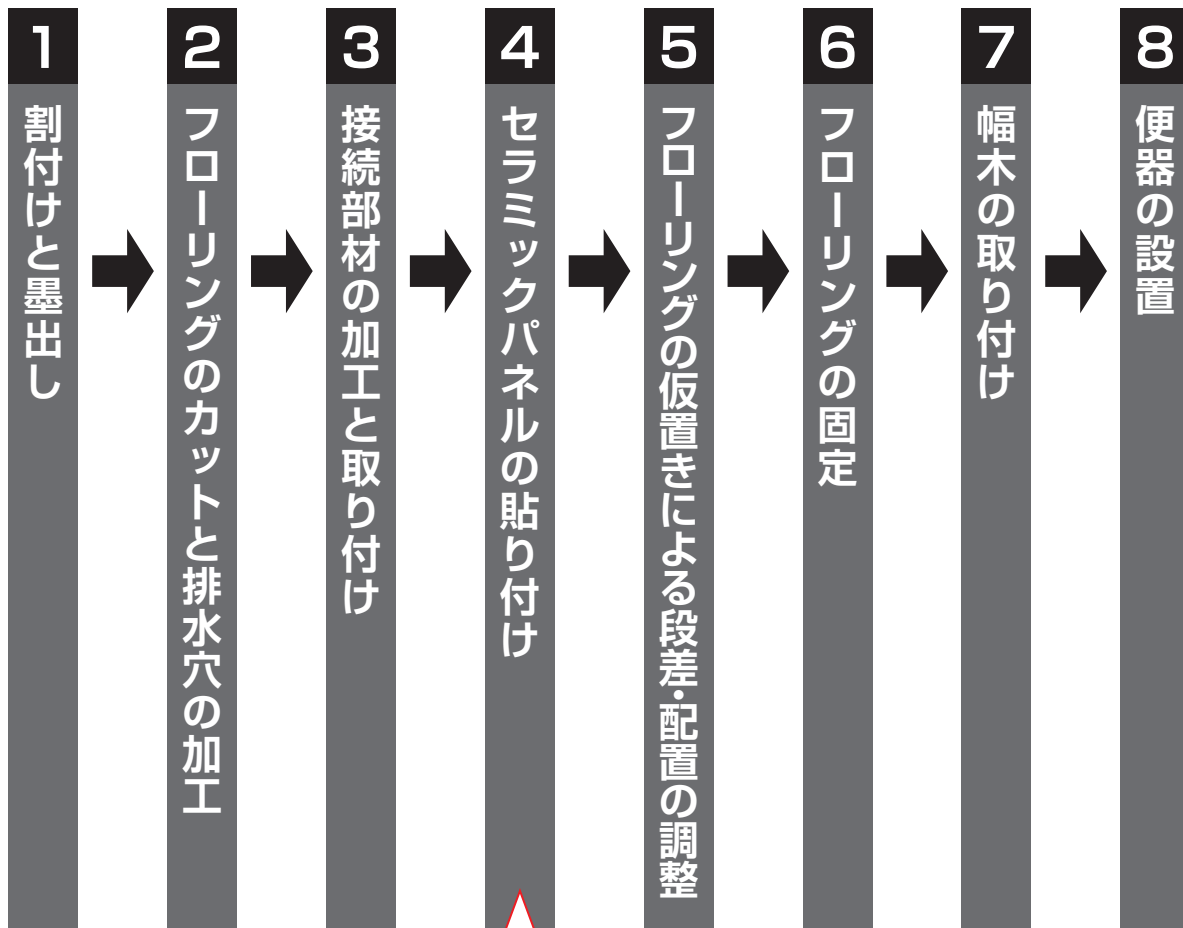
# 部材の配置、構成と完成図



※サネの向きが逆になる場合があります(くわしくはP8へ)

## 施工の流れ

作業をしやすくするため、この流れで施工ください。



最初にセラミックパネルを貼り付ける

# 1 割付けと墨出し

**重要** 本商品は、便器種・排水心によって割付け異なります。

## トイレフロアJ品番と便器種が合っているか確認

包装材のラベルから、本製品の品番を確認し、その品番と下表から便器種を特定ください。便器種が正しいか便器ご発注者様にお問合わせください。

問合せ例)

AGF802Aの場合『ネオレストLSですか？それともネオレストLS手洗器付きですか？』

AGF808Aの場合『レストバルFですか？キャビネット奥行寸法は？』



←**トイレフロアJ**  
の品番

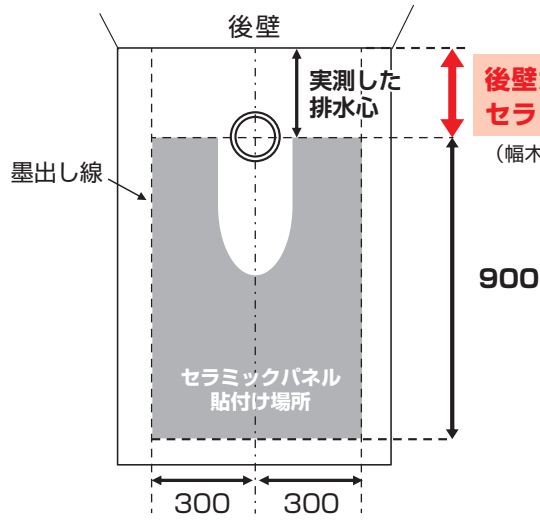
【包装材のラベル】

## 『実測した排水心』から、『後壁からセラミックパネルまでの寸法』を特定する

排水心を実測し、下表から『後壁からセラミックパネルまでの寸法』を特定ください。

トイレフロアJ 品番	便器種	(参考) 便器品番・ セット品番(UW*)	対応可能な 排水心 (mm)	後壁から セラミックパネルまでの寸法 (mm) ※幅木からではない	割付図
AGF800A#OO	ネオレストNX	CS902B*/BL/BK*	200±10	実測した排水心と同じ	い
	ネオレストLS	CS911B/BH	200±10	実測した排水心と同じ	
AGF801A#OO	ネオレストLSタイプ手洗器付 (ワンデーリモデル)	UWN*S/U *はA/B	200±10	実測した排水心+30	は
AGF802A#OO	ネオレストLS ※リモデルタイプ	CS911BM/BHM	305~435	200	ろ
			436~540	実測した排水心 <sup>ひく</sup> -235	
	ネオレストLSタイプ手洗器付 (ワンデーリモデル) ※リモデルタイプ	UWN*B *はA/B	335~465	230	
			466~540	実測した排水心-235	
AGF803A#OO	ネオレストAS/RS,ウォシュレット一体形便器NJ	CS921B/BF/BH/BHF CS321B	120	実測した排水心+80	は
			200±10	実測した排水心と同じ	い
AGF804A#OO	ネオレストAS/RS	CS921BM/BHM	305~435	200	ろ
			436~540	実測した排水心-235	
AGF805A#OO	ネオレストAS/RSタイプ手洗器付 (ワンデーリモデル)	UWN*S/U/B *はC/D/E/F/G	200±10	実測した排水心と同じ	い
			320~475	200	ろ
			476~540	実測した排水心-275	
AGF806A#OO	GG,GG手洗器付(ワンデーリモデル)	GG: CS890B/BH/BM/BHM ワンデーリモデル: UWD*S/R	120	実測した排水心+80	は
			200±10	実測した排水心と同じ	い
			264~499	200	ろ
			500~540	実測した排水心-299	
AGF807A#OO	GG-800、ピュアレストEX	CS891B/BH /BM/BHM CS400B/BH/ BM/BHM	200±10	実測した排水心と同じ	い
			305~540	200	ろ
AGF808A#OO	レストバルF (キャビネット奥行256mm)	UWF系	135,壁排水	236	は
	レストバルF (キャビネット奥行320mm)		200±10	300	
	FD		UWE系	120,壁排水	
AGF809A#OO	レストバル (スリム収納タイプ/キャビネット奥行170mm)	UWC系	200±10, 258~493	150	ろ
	レストバル (まるごと収納タイプ/キャビネット奥行256mm)		200±10,	236	は ろ
			344~579		
AGF810A#OO	ピュアレストQR,ウォシュレット一体形便器ZX	CS232B/BH /BM/BHM CS353B	200±10	実測した排水心と同じ	い
			305~540	200	ろ
AGF811A#OO	ウォシュレット一体形便器ZJ	CS348B	200±10	実測した排水心と同じ	い
AGF840A#OO	床排水小便器	UFH508系 UFS910系	180~220	3	に
AGF841A#OO	壁排水小便器	XPU2系 UFS900系 UFH500系・ 570系・557系	壁排水		

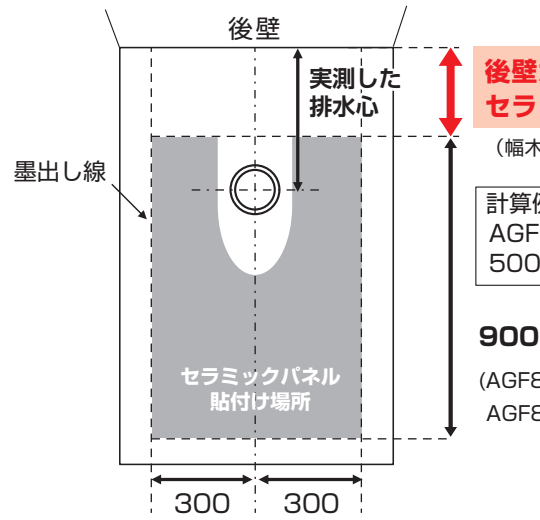
い



後壁から  
セラミックパネルまでの寸法  
(幅木からではない)

900

ろ



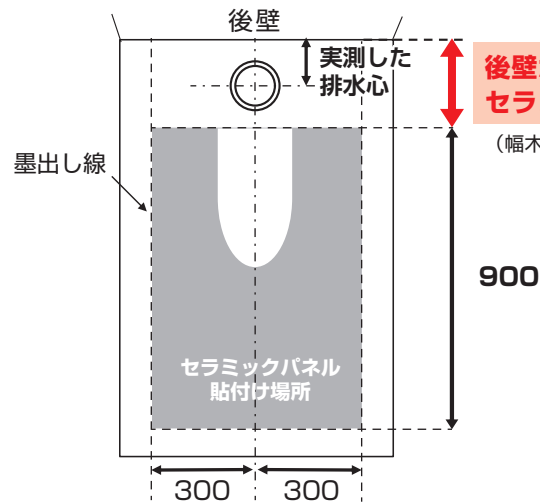
後壁から  
セラミックパネルまでの寸法  
(幅木からではない)

計算例)  
AGF802Aで排水心500mmの場合、  
500-235=265となる。

900

(AGF802A  
AGF804Aは**845**)

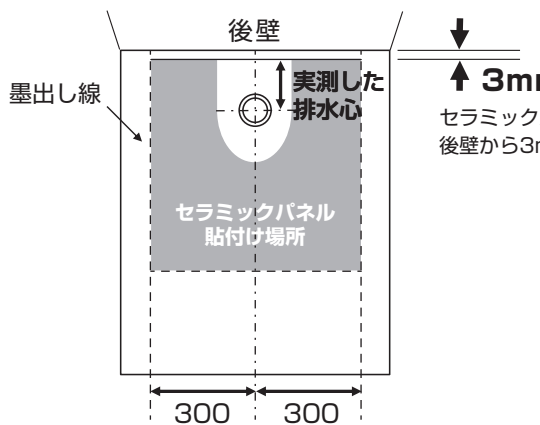
は



後壁から  
セラミックパネルまでの寸法  
(幅木からではない)

900

に

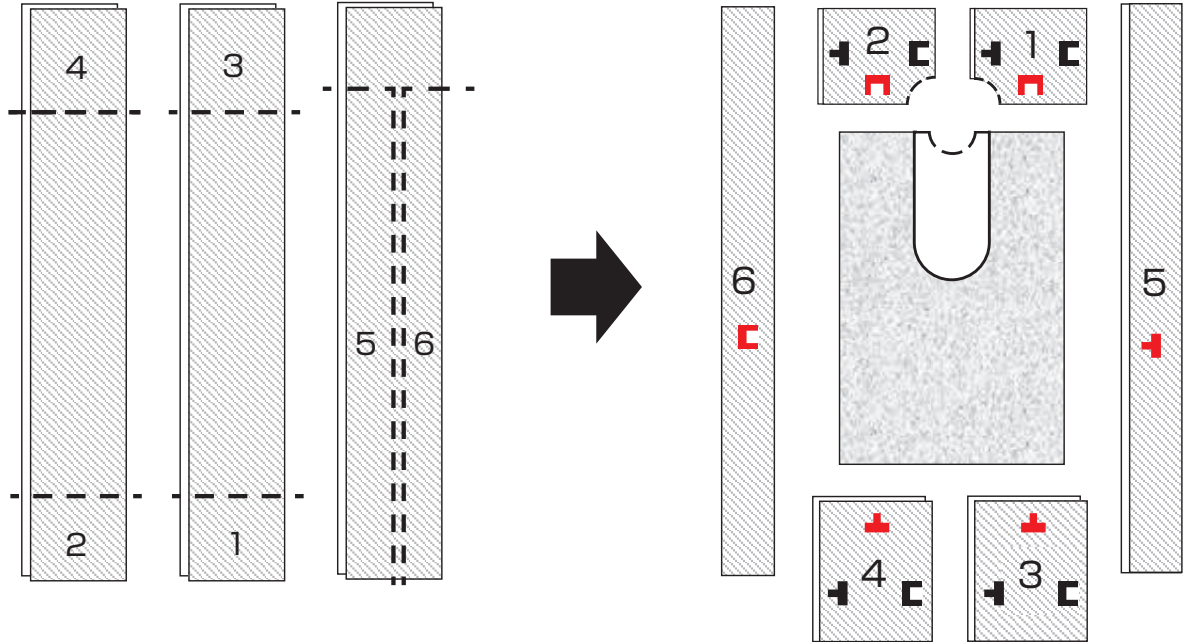


↓  
↑ **3mm程**  
セラミックパネルは  
後壁から3mm程あけて設置する

## 2 フローリングのカットと排水穴の加工

①採寸した寸法に合わせ、サネの向きに注意して、フローリング材をカットする。  
(壁側は3mm程度クリアランス考慮する)

②現場の排水位置に合わせ、排水管径+10mm程度の大きさの四角または丸穴を開ける。

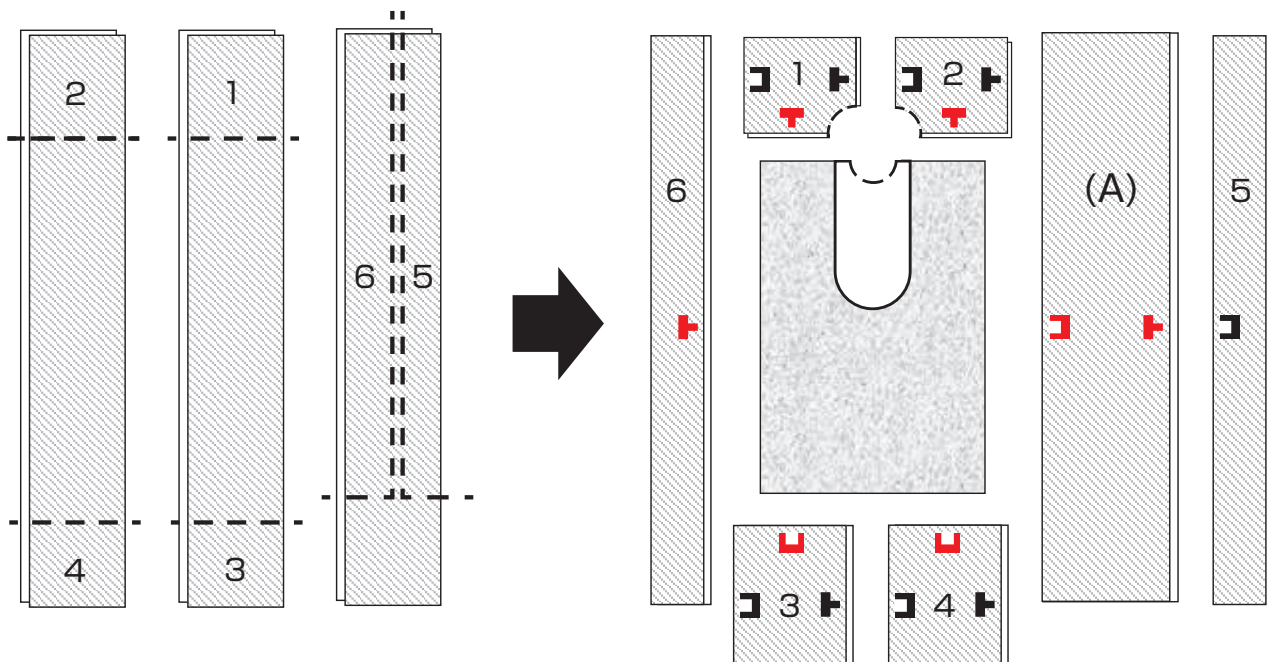


※上図の排水穴の位置は排水心200mmの場合。  
便器種によって、穴を開ける場所は異なります。

↑ : オザネ  
┌ : メザネ

### 【間口905mm以上で、便器向かって右側にフローリングを追加する場合】

フローリングを追加する側にオザネがくるように割付ける。(Aのフローリングに固定用釘を打つため)

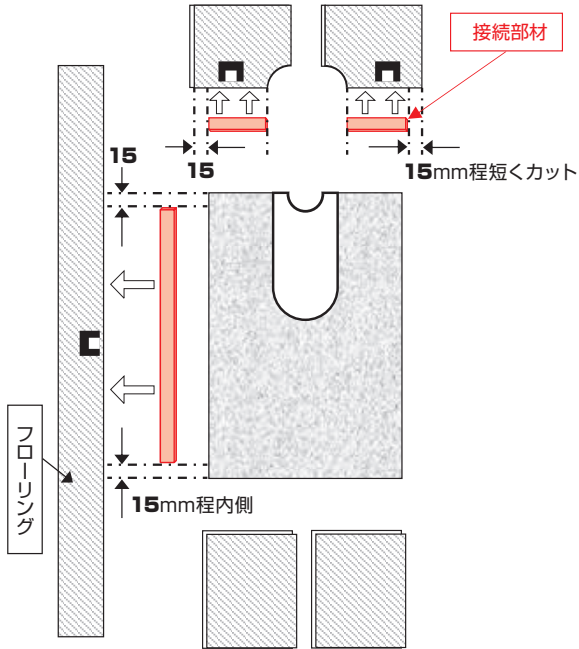




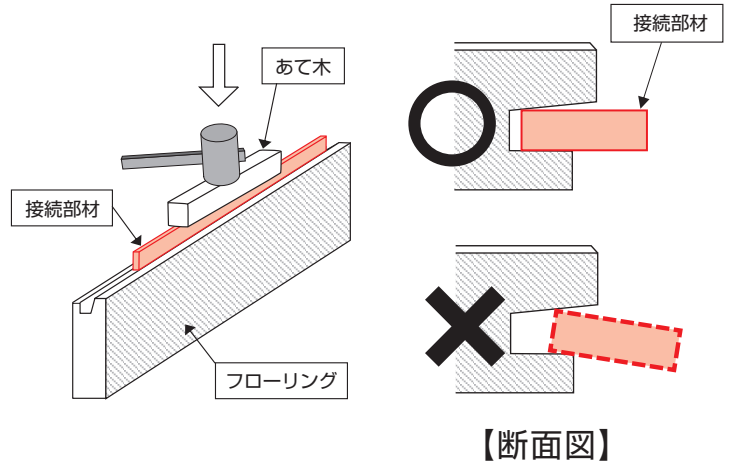
### 3 接続部材の加工と取り付け

セラミックパネルとフローリングのメザネ部を継ぎ合わせるために接続部材(角棒)を使用します。

- ① 接続部材は、差し込むフローリングより15mm程短くカットし、フローリングへの打ち込み位置を特定する。  
 ※長辺方向の接続部材はカット不要。



- ② 接続部材は、固定されるまでまっすぐ打ち込む。  
打ち込みにくい時は接続部材を削って調整する。

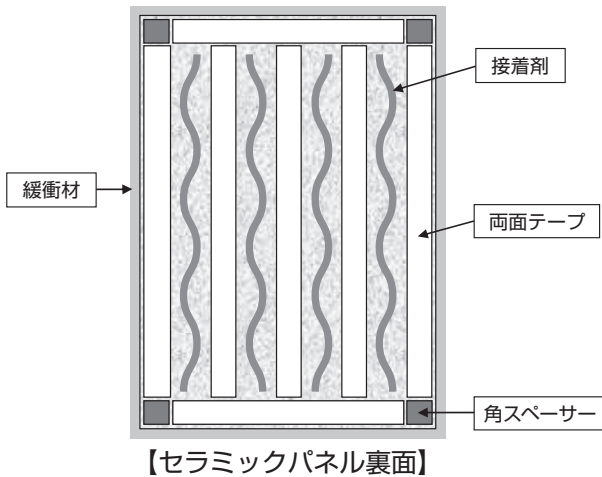


#### 注意

接続部材を使用しなかったり、下向きに取り付けると段差の原因になります。

### 4 セラミックパネルの貼り付け

- ① 接着剤を塗布する。

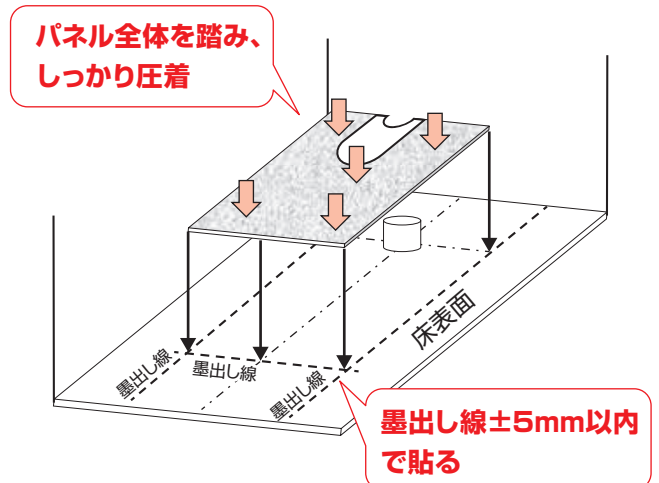


【セラミックパネル裏面】

#### 塗布量の目安

断面図	5~6mm	接着剤硬化の目安
3mm程度		夏季：12時間
		冬季：24時間

- ② 両面テープの剥離紙を剥がし、墨出し線に合わせて置き圧着する。



#### 注意

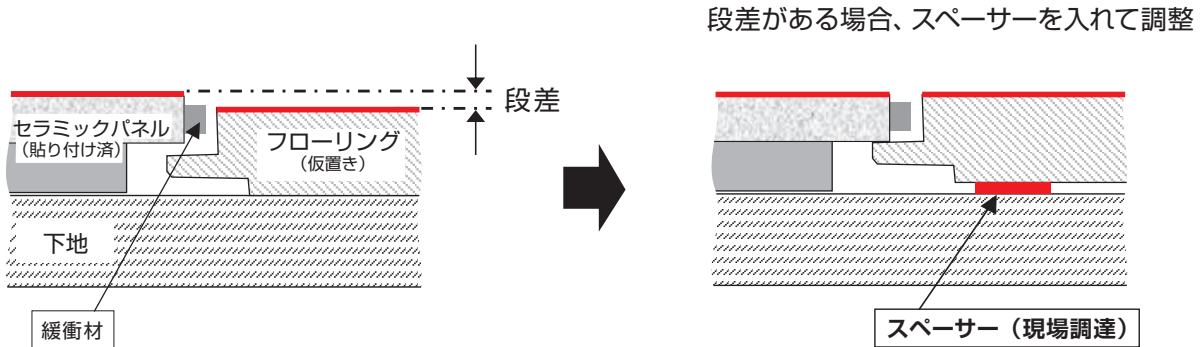
- ・しっかり圧着しない場合、段差に繋がります。
- ・墨出し線と合わせて貼っていない場合、大便器が取り付けできません。
- ・側面の緩衝材は継ぎ目の仕上がりに影響するので、側面の緩衝材が破損しないよう取扱いに注意してください。緩衝材が破損した場合は、接着剤 (AY62) に同梱の緩衝材予備を使い補修してください。

## 5 フローリングの仮置きによる段差・配置の調整

### ① 段差がないことを確認する

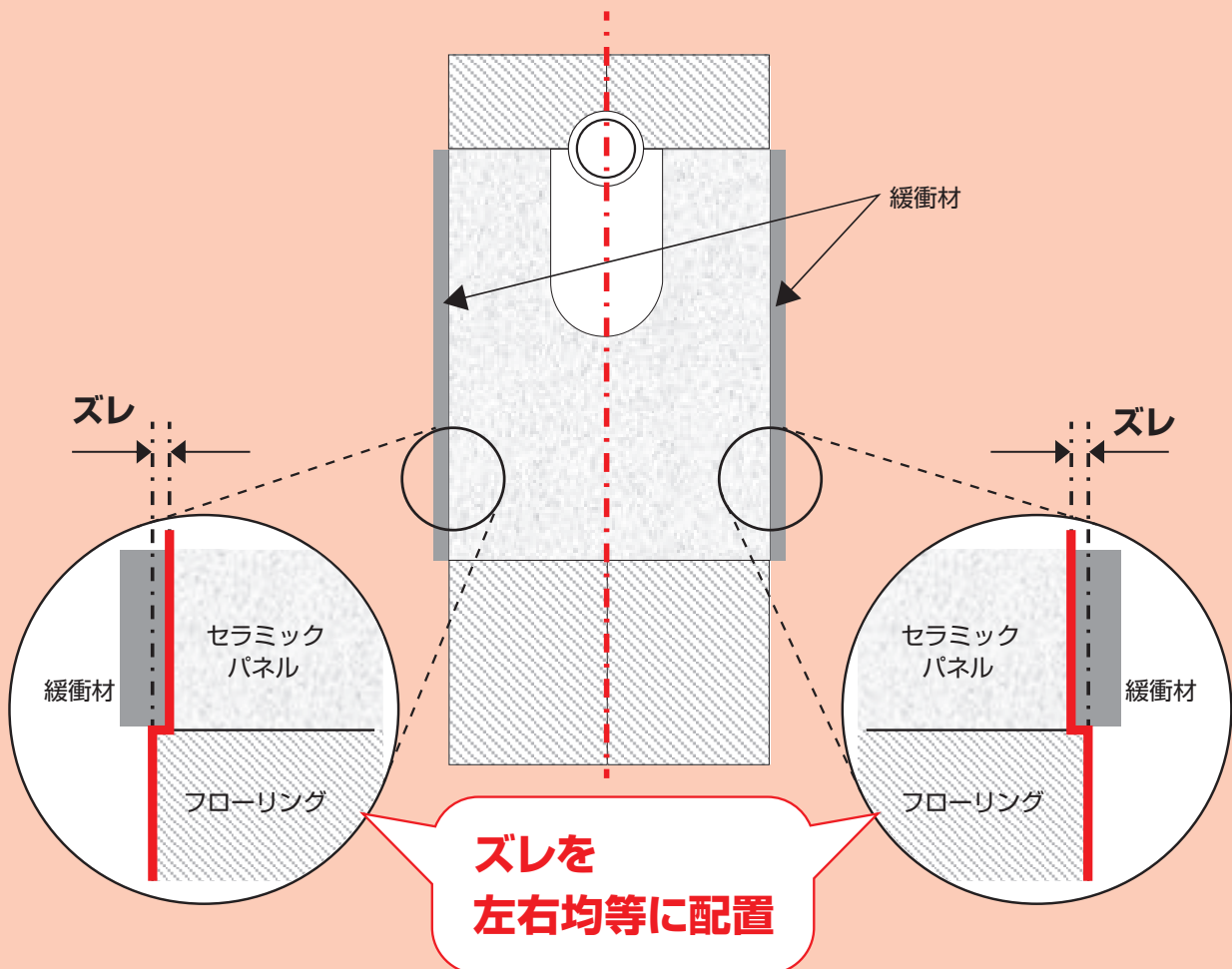
フローリングを仮置きし、セラミックパネルとの段差がないことを確認する。

**段差がある場合は、フローリング下にスペーサーを入れて調整する。**



### ② セラミックパネルと前後フローリングの配置決め

セラミックパネルと前後のフローリングを排水心中央揃えで配置し、セラミックパネルとのズレが**左右均等になるように配置する**。



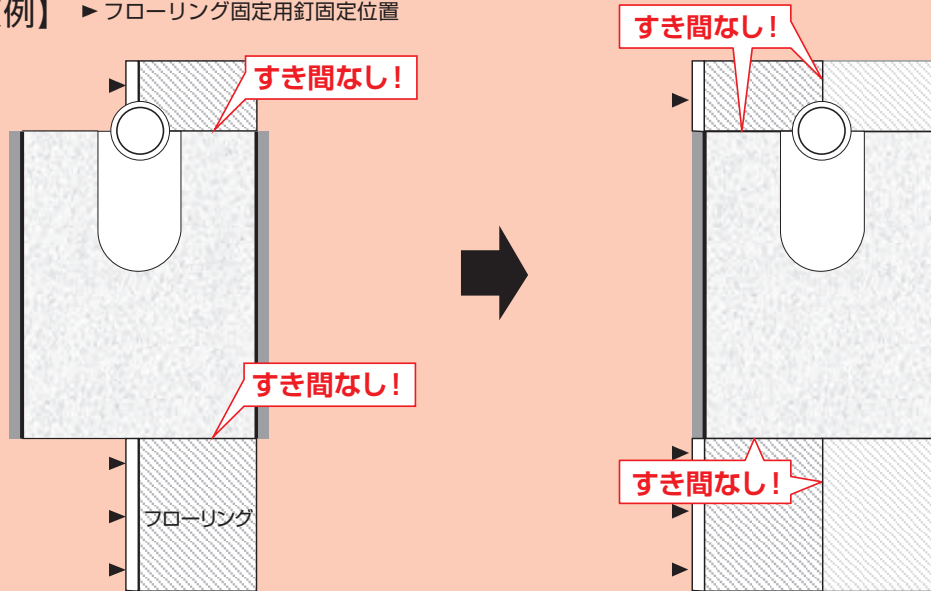
※ズレ……セラミックパネルとフローリングの幅寸法が異なるためズレが発生します。

## 6 フローリングの固定

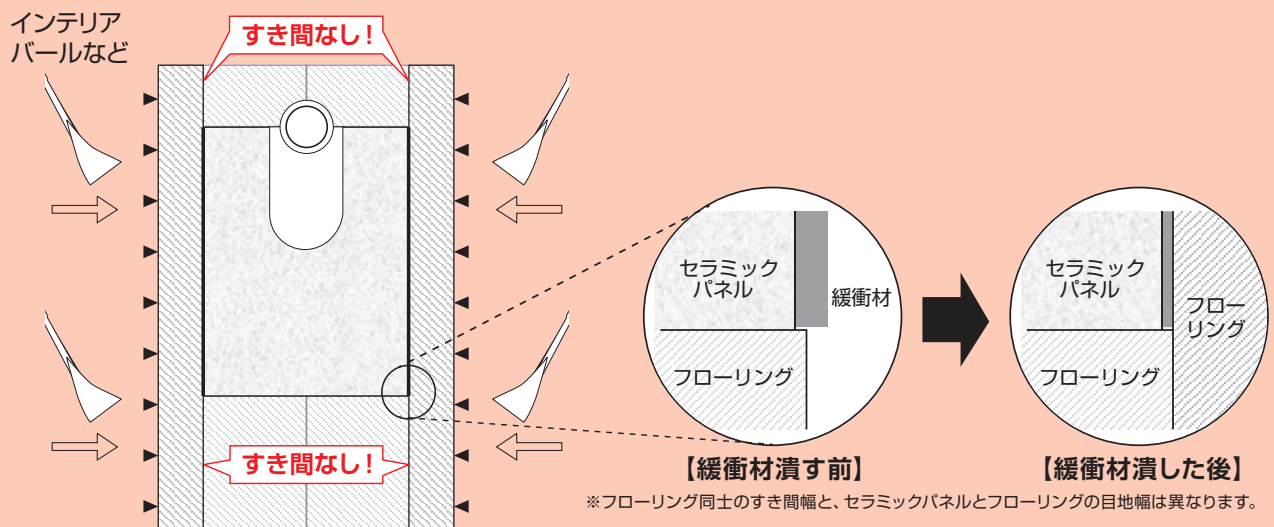
### ① 接着剤で貼り付ける。

フローリングの貼り付け順序は、セラミックパネル、前後のフローリング、最後に左右のフローリングを貼り付けます。(床給排水管・ドア枠との位置などを考慮して決めること。)

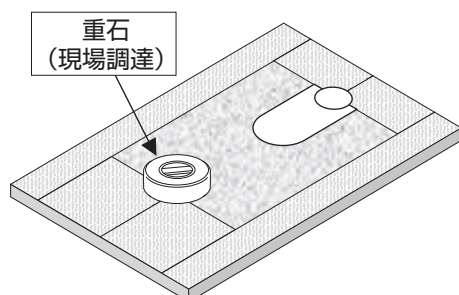
### 【施工手順例】 ▶ フローリング固定用釘固定位置



### ② フローリングをひき寄せ、緩衝材を潰しながら▶の位置にフローリング固定用釘で固定する。

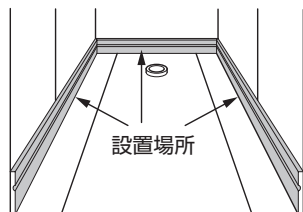


### ③ スペースで段差を調整した部分には、重石を載せて一日養生する



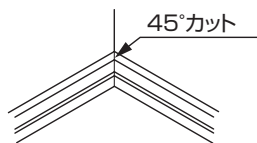
## 7 幅木の取り付け

① 幅木(別売品)の設置場所を採寸する。

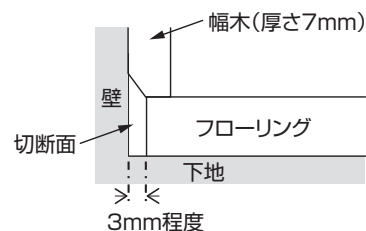


② 採寸した寸法に幅木を切断する。

③ コーナー部は45°に切断する。



④ クリアランスの上に設置し固定する。



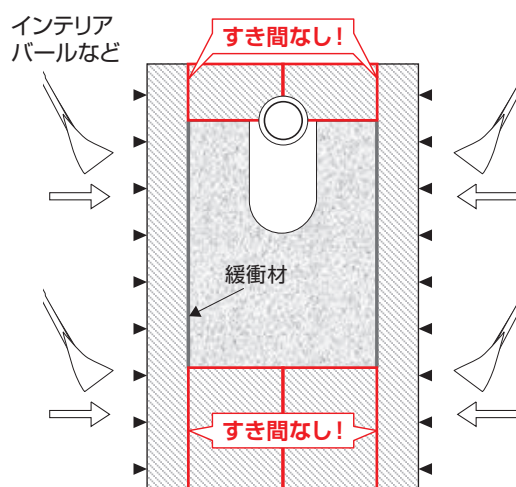
※ 商品設置後に他工事を行う場合は、キズ防止のため商品表面を養生してください。

※ 部材間にすき間が目立つ場合は、コーキング材などで処理してください。

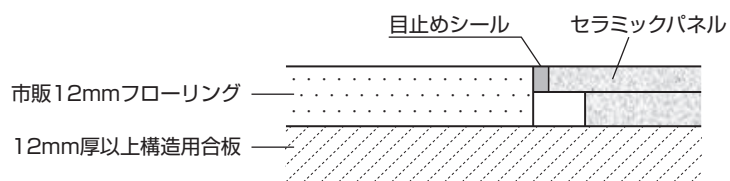
## その他

### 【セラミックパネルから貼れない場合】

先入れしたフローリングの固定釘は、  
全てのすき間調整が完了した後に固定ください。  
(右図▶の位置)



### 【市販12mmフローリングと貼り合わせる場合の例】



\* 目止めシールには、シリコン系シール材を充填してください。

### 注意

- ・セラミックパネル側面の緩衝材は剥がしてください。目止めシールの妨げになります。
- ・部材間の仕上げ面は同一に調整してください。

**本施工説明書を、設備取付業者様へお渡しください。**

## 8 便器の設置

便器に同梱の施工説明書に従って、便器を取り付けてください。

### ⚠ 注意

- ・排水ソケットと固定片は、絶対にセラミック部に取り付けしないでください。セラミックパネルが破損したり、破損部でケガをするおそれがあります。

